

# NPO法人プラネット映画保存ネットワーク 年間報告

---

2019年度(第1期)

2019年11月11日～2020年4月30日

2019



神戸映画資料館  
KOBE PLANET FILM ARCHIVE

## ご挨拶

---

NPO法人プラネット映画保存ネットワークの設立からまだ半年経過したところですが、初年度の決算期を迎えました。

設立早々、予期せぬ事態に見舞われた6ヶ月間でした。この法人で継続しようと考えていた文化庁の「美術館・歴史博物館重点分野支援事業」の事業自体の終了、そして新型コロナウイルス感染症拡大による休業です。

しかしこのコロナ禍に際し、直接のご寄附に加え、「つなぐKOBEアート募金(神戸市ふるさと納税)」や「神戸文化支援基金」より支援をいただき、そして上映施設として、京阪神のミニシアター連携による「Save our local cinemasプロジェクト」や、クラウドファンディング「ミニシアター・エイド(Mini-Theater AID)基金」を通じて支援を受けることができ、この危機をひとまず乗り越えることができました(\*これらの支援金収入のほとんどは次年度の計上になります)。心より感謝いたします。これまで以上に志を同じくする仲間や関係各所と連携し、お互いの活動を深めていきたいと思えます。

アーカイブ事業については、次年度、2020年8月から7ヶ月間という短期間ではありますが、文化庁の「メディア芸術アーカイブ推進支援事業」を実施できることになり、活動を発展させてゆく目処が立ちつつあります。

支援者の皆様や会員の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

NPO法人プラネット映画保存ネットワーク

理事長 安井喜雄

専務理事 田中範子

## 設立趣旨書

---

フィルムアーカイブ活動(映画フィルムの収集・保存・公開)を行う日本国内の主たる機関としては、国立の「国立映画アーカイブ」、地方自治体が運営する「広島市映像文化ライブラリー」「京都府京都文化博物館」「川崎市市民ミュージアム」「福岡市総合図書館」などがあります。しかしながら、法定納入制度のような仕組みがない映画フィルムの保存と収集は、映画会社の方針や社会情勢に左右される部分が大きく課題は多く残っています。その一方で愛好家の収集により失われることをまぬがれたフィルムも多く、その価値が認められつつあります。

「神戸映画資料館」は、まさにそういう個人の収集活動から始まったものです。その時代の評価や人気にとらわれずに収集してきたことにより、忘れられていた作品や軽視されてきたジャンルの映画なども保存されてきました。それが現在、失われていたと思われていた幻の映画を多数発掘することにつながっています。

1974年、わたしは映画好きの仲間とサークル団体「プラネット映画資料図書館」を大阪に設立しました。それから数十年にわたって多数の映画フィルム、書籍、パンフレット、ポスター、機材など、映画に関するあらゆる種類の資料を集めてきました。しかし、所蔵資料が質量ともに充実するにつれ、収蔵する場所の確保や、資料の整理が追いつかなくなっていました。そのような状態であったころ、神戸・新長田において、われわれの映画資料をもとにした文化施設づくりが、兵庫県と神戸市の協力を得て進展し、2007年3月に「神戸映画資料館」が開館するに至りました。立ち上げ初期は「新長田まちづくり株式会社」が「兵庫県商店街活性化事業」を活用する事業主体となり、わたしが代表をつとめる「神戸プラネット」が運営委託を受け、その後2009年からは「神戸プラネット」の独立採算事業として運営をしてきました。

2014年には「一般社団法人神戸映画保存ネットワーク」を設立し、文化庁の「美術館・歴史博物館重点分野支援事業」のもと、これまで立ち後れていたフィルムの網羅的な調査が始まりました。ようやく調査研究を行えるようになりましたが、土台である神戸映画資料館の運営は脆弱なままで、有志の個人への献身に頼らざるを得ない状態です。近年、映像分野だけに限らず、アーカイブの重要性の認識が高まっていますが、アーカイブとは文化を未来に繋ぐためのものであり、長期的な視点と運用が不可欠です。

フィルムアーカイブという公共性の高い活動を今後も継続して行うためにはNPO法人化が最良の策であると考え、これを機に、神戸映画資料館を運営する任意団体「神戸プラネット」とその調査部門である「一般社団法人神戸映画保存ネットワーク」を一体化したいと考えます。活動の全体を市民に知ってもらうことで理解と協力、参画を促し、柔軟性のある「市民参加型フィルムアーカイブ」をともに作っていきたいと考えています。

2019年9月10日

特定非営利活動法人 プラネット映画保存ネットワーク

設立代表者 安井喜雄

## 活動報告

---

### 映画フィルム・映画関連資料の収集

フィルム 購入:11件(理事長個人) 寄贈:2件  
映画関連資料 購入:3件(内2件理事長個人) 寄贈:3件

### 映画フィルム・映画関連資料の保存

収蔵庫の拡充を行うことで、機材類の分類整理が進展した。

収蔵庫増設(3月)  
調査室閉鎖(3月末)

### 映画上映会

シリーズ上映企画を充実させることで、じっくりとそのテーマに関する映画作品を提供することができた。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、4月10日より休館を余儀なくされ、予定していた上映企画は延期となった。

#### 主なプログラム

- ・ シリーズ ロシア・ソヴィエト映画 連続上映
- ・ シリーズ フレデリック・ワイズマンのすべて in 関西
- ・ 連続講座:20世紀傑作映画 再(発)見
- ・ 新春剣豪映画大会
- ・ 神戸クラシックコメディ映画祭2020 主催:古典喜劇映画上映委員会
- ・ ニュー・インディペンデント・シネマ vol.1
- ・ 前田憲二監督の長編記録映画 連続上映 第1回
- ・ 大学主催の公開研究会(1件)

映画関連資料の公開 展示替え1回(3月)

映画講座、トークショー 1回(12月)

活動拠点:アクティブ・アーカイブ・プロジェクト 誰でもアーキビスト

(事業主体:神戸映像アーカイブ実行委員会)

神戸市「まちの再生・活性化に寄与する文化芸術創造支援助成対象事業」

くにづか月イチ上映会(主催:くにづかりボーンプロジェクト)

5回(毎月1回)

シアターレンタル 30回

資料貸し出し 8回

物販 104日(10:30~18:00)

喫茶コーナー 104日(10:30~18:00)

## 寄附へのお礼

---

以下の皆様にご寄附をいただきました。記してここに感謝いたします。

吉岡 博行 様／京都府[株式会社吉岡映像]

ワイズ出版 様／東京都

鈴木 明弘 様／宮城県

映画保存協会 様／東京都

匿名6名

## 2019年度の会員名簿

---

理事会 4名

安井 喜雄(理事長／兵庫県)

田中 範子(専務理事／兵庫県)

山根 貞男(神奈川県)

穴田 正幸(監事／兵庫県)

正会員 7名(理事を除く)

いいを じゅんこ(クラシック喜劇研究家)

板倉 史明(映画研究／神戸大学)

上田 学(映画研究／神戸学院大学)

金 稔万(映画作家)

峯 利子(映画作家)

橋本 英治(映画研究／神戸芸術工科大学)

松山 ひとみ(アーキビスト／大阪中之島美術館準備室)

賛助会員 68名

菅野 賢治／鷺谷 花／寺尾 佳典／辰巳 玲子／小川 健治／寺本 雄三／八朝 裕樹／加藤 文／小川 翔太／和田 幹司／土本 基子／山崎 バニラ／稲垣 浩／羽鳥 隆英／塚本 洋三／山際 永三／野尻 浩一／川島 信治／岡 陽子／土居 安子／正岡 健二／向平 由子／堀 哲也／鶴久森 典妙／辛 理華／北村 皆雄／Lewis Bremner／奥所 清美／奥所 千恵子／畑 あゆみ／伊藤 久美子／山本 直美／野口 一男／村山 匡一郎／太田 耕一／甲斐 史子／長田 勇市／田邊 高英／佐野 明子／高岡 茂／天羽 均／石井 岳龍／高槻 真樹／福原 彰／神谷 伸子／天宮 遥／欽峯 浩二／北波 英幸／木村 智哉／波多野 ゆき枝／宇野田 尚哉／水野 直樹／飛田 雄一／木村 光／李 敬司／吉野 大地／季村 敏夫／藤岡 朝子／加藤 初代／玄 善允／村上 知彦／江利川 憲／浅川 志保／福島 成人／匿名4名

## 収支報告

---

I 収入の部	3,398,758円	
入会金・会費収入		483,500円
寄付金		600,000円
寄付金(ふるさと納税)		180,000円
収益事業売上		2,135,258円
受取利息		1円
II 支出の部	4,566,075円	
事業費	4,398,093円	
人件費		1,045,357円
仕入原価(収益)		97,120円
資料館家賃(収益)		1,084,165円
通信費(収益)		38,591円
水光熱費(収益)		135,691円
外注(収益)		51,000円
プリント費(収益)		73,698円
荷造運賃(非営利)		815,796円
資料購入費(非営利)		2,100円
収蔵庫家賃(非営利)		1,054,575円
管理費	167,982円	
広告費		50,530円
会議費		7,963円
保険料		23,820円
租税公課		1,350円
支払手数料		6,600円
旅費交通費		510円
諸会費		41,500円
消耗品費		9,003円
廃棄物処理		26,706円
税引前当期正味財産増減額		▲ 1,167,316円
法人税、住民税及び事業税		29,900円
当期正味財産増減額		▲ 1,197,216円
前期繰越正味財産額		0円
次期繰越正味財産額		▲ 1,197,216円

## 貸借対照表

---

I	資産の部	11,077,145円	
	1	流動資産	
		収益事業現金	18,735 円
		非営利活動小口	50,000 円
		郵便貯金(預かり金用)	10,010,000 円
		郵便貯金(大阪貯金事務)	531,000 円
		三菱UFJ(非営利活動用)	467,410 円
	2	固定資産	
		固定資産合計	0 円
II	負債の部	12,274,361円	
	1	流動負債	
		短期借入金	2,234,461 円
		未払法人税等	29,900 円
		預り金	10,010,000 円
	2	固定負債	
		固定負債合計	0 円
III	正味財産の部	▲ 1,197,216円	
		前期繰越正味財産	0 円
		当期正味財産増加額	▲ 1,197,216 円
	負債及び正味財産合計		11,077,145 円

NPO法人プラネット映画保存ネットワーク  
2019年度(第1期) 年間報告

発行日:2020年7月29日

発行:NPO法人プラネット映画保存ネットワーク

〒653 - 0036

神戸市長田区腕塚町5丁目5番1 - 201

アスタくにつか1番館北棟2F

神戸映画資料館

Tel 078 - 754 - 8039

e-mail [info@kobe-eiga.net](mailto:info@kobe-eiga.net)

<https://www.kobe-eiga.net/>

---